

平成15年（行ケ）第269号 特許取消決定取消請求事件  
平成16年11月15日口頭弁論終結

## 判 決

原告 メルク・パテント・ゲゼルシャフト・ミット・ベシュレンクテル・ハフツング

訴訟代理人弁護士 清永利亮，弁理士 葛和清司，井上洋一

被告 特許庁長官 小川洋

指定代理人 岩瀬真紀子，板橋一隆，後藤圭次，一色由美子，大橋信彦，井出英一郎

## 主 文

特許庁が異議2000-71142号事件について平成15年2月4日にした決定中特許を取り消した部分を取り消す。

訴訟費用は各自の負担とする。

## 事実及び理由

以下において特許請求の範囲を引用する場合，「および」は「及び」に，「または」は「又は」に統一して表記した。

### 第1 原告の求めた裁判

主文第1項同旨の判決。

### 第2 事案の概要

#### 1 特許庁における手続の経緯

原告は，本件特許第2951400号「フルオロベンゼン誘導体及び液晶相」の特許権者である。本件特許は，1990年9月3日（パリ条約による優先権主張1989年9月6日，ドイツ国）を国際出願日として特許出願され，平成11年7月9日に特許権の設定登録がされ，その後，特許異議の申立てがあり（異議2000-71142号），取消しの理由が通知され，その指定期間内である平成13年3月29日に訂正請求（後日取下げ）がなされた後，再度の取消しの理由が通知され，その指定期間内である平成14年9月17日に訂正請求がされた。

平成15年2月4日，「訂正を認める。特許第2951400号の請求項1ないし16及び19，20に係る特許を取り消す。同請求項17，18に係る特許を維持する。」との決定があり，その謄本は同月26日原告に送達された。

#### 2 決定の理由の要点

平成14年9月17日付け訂正は適法であるが，先願当初明細書（特願平1-54150号の願書に最初に添付された明細書）には，平成14年9月17日付け訂正による請求項1記載の発明1ないし16及び19，20と同一の発明が記載されているので，これらは，特許法29条の2の規定により特許を受けることができない。

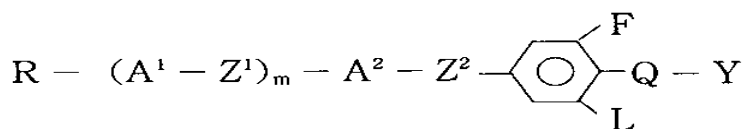
一方，平成14年9月17日付け訂正による請求項17，18記載の発明に係る特許については，特許異議申立ての理由及び証拠によっては，その特許を取り消すことができない。


#### 3 訂正審決の確定

原告は，本訴提起後の平成16年8月30日，本件特許につき，特許請求の範囲の減縮等を目的として，明細書の訂正をする審判を請求したところ（訂正2004-39207号），平成16年10月8日，当該訂正を認める旨の審決があり確定した。

4 平成14年9月17日付け訂正による特許請求の範囲の記載（決定が基礎とした特許請求の範囲の記載）

1. 式I



〔式中、Rは、Hであり、あるいはRは、炭素原子1～15個を有するアルキル基又はアルケニル基であり、この基は、非置換であるか、あるいは置換基として1個のCN又はCF<sub>3</sub>を有するか、あるいは置換基として少なくとも1個のハロゲンを有しており、そしてこれらの基中に存在する1個又は2個以上のCH<sub>2</sub>基は、場合によりそれぞれ相互に独立して、O原子が相互に直接に結合しないものとして、—O—、—S—、、—CO—、—CO—O—、—O—CO—又は—O—CO—O—により置き換えられていてもよく、A<sup>1</sup>及びA<sup>2</sup>は、それぞれ相互に独立して、

(a) トランス—1, 4—シクロヘキシレン基（この基中に存在する1個のCH<sub>2</sub>基又は隣接していない2個以上のCH<sub>2</sub>基はまた、—O—及び（又は）—S—により置き換えられていてもよい）、

(b) 1, 4—フェニレン基、

(c) 1, 4—シクロヘキセニレン、1, 4—ビスクロ〔2, 2, 2〕オクチレン、ピペリジン—1, 4—ジイル、ナフタレン—2, 6—ジイル、デカヒドロナフタレン—2, 6—ジイル及び1, 2, 3, 4—テトラヒドロナフタレン—2, 6—ジイルよりなる群からの基

であり、上記の基（a）及び基（b）は、場合によりCN又はフッ素により置換されていてもよく、

Z<sup>1</sup>及びZ<sup>2</sup>は、それぞれ相互に独立して、—CO—O—、—O—CO—、—CH<sub>2</sub>O—、—OCH<sub>2</sub>—、CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>—、—CH=CH—、—C≡C—又は単結合であり、あるいは基Z<sup>1</sup>及び基Z<sup>2</sup>のうちの一つはまた、—(CH<sub>2</sub>)<sub>4</sub>—又は—CH=C(H)—CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>—であることができ、

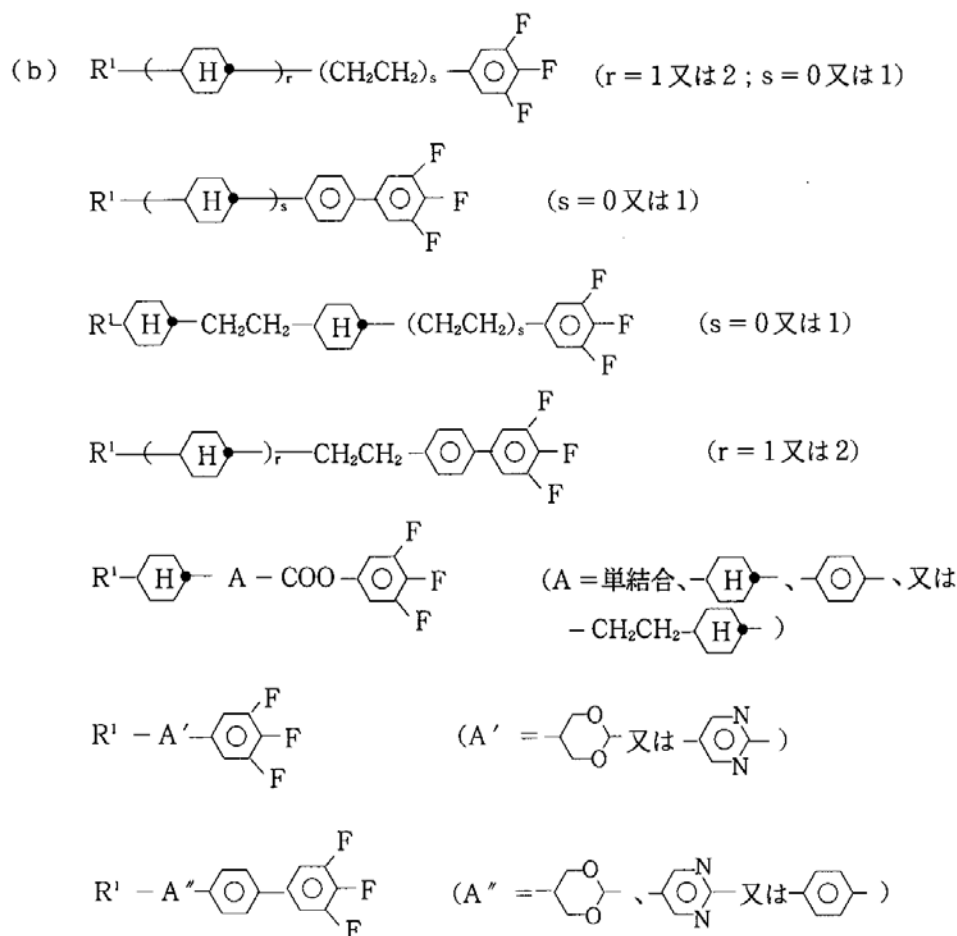
Lは、Fであり、

mは、0, 1又は2であり、

Yは、F又はClであり、そして

Qは、単結合、—CF<sub>2</sub>—、—OCF<sub>2</sub>—又は—OCHF—である、ただし、次の化合物を除く、

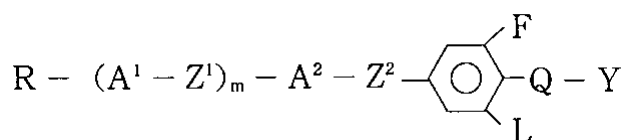
(a) 4—プロピル—4′—（3, 5—ジフルオロ—4—デフルオロメトキシフェニル）—トランス、トランス—ビスクロヘキシル



式中  $R^1$  はそれぞれ炭素原子 1 ～ 10 個を有するアルキル基である]

で示されるフルオロベンゼン誘導体。

2. 式 I で示される化合物を液晶媒体の成分として使用する方法。
3. 少なくとも 2 種の液晶成分を含有する液晶媒体であって、式 I で示される化合物のうちの少なくとも 1 種を含有することを特徴とする液晶媒体。
4. 式 I "



〔式中、 $R$  は、 $H$  であり、あるいは  $R$  は、炭素原子 1 ～ 15 個を有するアルキル基又はアルケニル基であり、この基は、非置換であるか、あるいは置換基として 1 個の  $CN$  又は  $CF_3$  を有するか、あるいは置換基として少なくとも 1 個のハロゲンを有しており、そしてこれらの基中に存在する 1 個又は 2 個以上の  $CH_2$  基は、場合によりそれぞれ相互に独立して、 $O$  原子が相互に直接に結合しないものとして、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{S}-$ 、 $-\text{C}(\text{O})-\text{C}(\text{O})-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{CO}-\text{O}-$ 、 $-\text{O}-\text{CO}-$  又は  $-\text{O}-\text{CO}-\text{O}-$  により置き換えられていてもよく、 $A^1$  及び  $A^2$  は、それぞれ相互に独立して、

(a) トランス-1, 4-シクロヘキシレン基 (この基中に存在する 1 個の  $CH_2$  基又は隣接していない 2 個以上の  $CH_2$  基はまた、 $-\text{O}-$  及び (又は)  $-\text{S}-$  により置き換えられていてもよい)、

(b) 1, 4-フェニレン基 (この基中に存在する 1 個又は 2 個の  $CH$  基はま

た、Nにより置き換えられていてもよい）、

(c) 1, 4-シクロヘキセニレン, 1, 4-ビスクロ〔2, 2, 2〕オクチレン, ピペリジン-1, 4-ジイル, ナフタレン-2, 6-ジイル, デカヒドロナフタレン-2, 6-ジイル及び1, 2, 3, 4-テトラヒドロナフタレン-2, 6-ジイルよりなる群からの基

であり、上記の基(a)及び基(b)は、場合によりCN又はフッ素により置換されていてもよく、

$Z^1$ 及び $Z^2$ は、それぞれ相互に独立して、 $-\text{CO}-\text{O}-$ ,  $-\text{O}-\text{CO}-$ ,  $-\text{CH}_2\text{O}-$ ,  $-\text{OCH}_2-$ ,  $\text{CH}_2\text{CH}_2-$ ,  $-\text{CH}=\text{CH}-$ ,  $-\text{C}\equiv\text{C}-$ 又は単結合であり、あるいは基 $Z^1$ 及び基 $Z^2$ のうちの一つはまた、 $-(\text{CH}_2)_4-$ 又は $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CH}_2\text{CH}_2-$ であることができ、

Lは、Fであり、

mは、0, 1又は2であり、

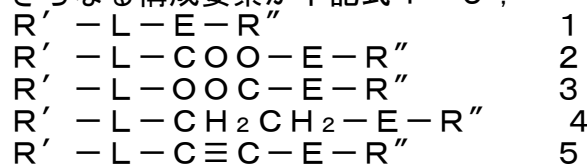
Yは、F又はClであり、そして

Qは、単結合,  $-\text{CF}_2-$ ,  $-\text{OCF}_2-$ 又は $-\text{OCHF}-$ である、

で示されるフルオロベンゼン誘導体の1種又は2種以上に加え、さらなる構成要素として4~30種の成分を含有する液晶媒体。

5. さらなる構成要素が7~25種の成分であることを特徴とする、請求項4に記載の液晶媒体。

6. さらなる構成要素が下記式1~5；



式1, 式2, 式3, 式4及び式5において、L及びEは同一又は異なることができ、相互に独立して、それぞれ、 $-\text{Phe}-$ ,  $\text{Cyc}-$ ,  $-\text{Phe}-\text{Phe}-$ ,  $-\text{Phe}-\text{Cyc}-$ ,  $-\text{Cyc}-\text{Cyc}-$ ,  $-\text{Pyr}-$ ,  $-\text{Dio}-$ ,  $-\text{G}-\text{Phe}-$ 及び $-\text{G}-\text{Cyc}-$ ならびにそれらの鏡像基からなる群からの二価の基であり、Pheは1, 4-フェニレンであり(この基は非置換であるか、又はフッ素で置換されている)、Cycはトランス-1, 4-シクロヘキシレン又は1, 4-シクロヘキセニレンであり、Pyrはピリミジン-2, 5-ジイル又はピリジン-2, 5-ジイルであり、Dioは1, 3-ジオキサン-2, 5-ジイルであり、そしてGは2-(トランス-1, 4-シクロヘキシル)-エチル, ピリミジン-2, 5-ジイル, ピリジン-2, 5-ジイル又は1, 3-ジオキサン-2, 5-ジイルであり、 $\text{R}'$ 及び $\text{R}''$ は相互に独立して、それぞれ、8個までの炭素原子を有するアルキル, アルケニル, アルコキシ, アルコキシアルキル, アルケニルオキシ又はアルカノイルオキシであるか、又は、 $\text{R}''$ は、 $-\text{F}$ ,  $-\text{Cl}$ ,  $-\text{NCS}$ 又は

$(\text{O})_i\text{CH}_3-(\text{k}+1)\text{F}_k\text{Cl}_l$ (式中、 $i$ は、0又は1であり、そして $\text{k}+1$ は、1, 2又は3である)である、

で示される化合物から選択されることを特徴とする、請求項4又は5に記載の液晶媒体。

7. さらなる構成要素として、式1~5のうちの2つから選択される化合物を含有することを特徴とする、請求項6に記載の液晶媒体。

8. LがCyc又はPheであり、Eが $-\text{Phe}-\text{Cyc}-$ である構成要素を含有することを特徴とする、請求項6に記載の液晶媒体。

9. LがPheであることを特徴とする、請求項8に記載の液晶媒体。

10. L及びEがCyc, Phe及びPyrからなる群から選択されたものである式1~5の化合物の1種又は2種以上と、L及びEのうちのひとつの基がCyc, Phe及びPyrからなる群から選択され、他の基が $-\text{Phe}-\text{Phe}-$ ,  $-\text{Phe}-\text{Cyc}-$ ,  $-\text{Cyc}-\text{Cyc}-$ ,  $-\text{G}-\text{Phe}-$ 及び $-\text{G}-\text{Cyc}-$ からなる群から選択されたものである式1~5の化合物の1種又は2種以上とを同時に含むことを特徴とする、請求項6に記載の液晶媒体。

11. 式1の化合物を複数種含有することを特徴とする、請求項4~10のいずれかに記載の液晶媒体。

12. 式1の化合物を3, 4又は5種含有することを特徴とする、請求項11に記載の液晶媒体。

13. (a) 式1の化合物1種又は2種以上を5~90%,

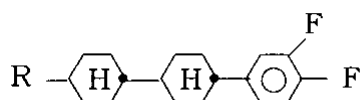
(b) R'' が -F, -Cl, -NCS 又は  $-(O)_i CH_3-(k+1) F_k Cl_l$  である式 1～5 から選択される化合物を 10～80% (グループ B) 及び

(c) R' 及び R'' が夫々互いに独立して、炭素原子 1～8 個を有するアルキル、アルケニル、アルコキシ、アルコキシアルキル、アルケニルオキシ又はアルカノイルオキシである式 1～5 から選択される化合物を 0～30% (グループ A) 含有することを特徴とする、請求項 6 に記載の液晶媒体。

14. L 及び E のうちのひとつの基がフッ素で置換された 1, 4-フェニレンを含む、式 1～5 から選択される化合物を含有することを特徴とする、請求項 13 に記載の液晶媒体。

15. 式 I'' の化合物とグループ B の化合物とからなることを特徴とする、請求項 13 に記載の液晶媒体。

16. 式 I'' の化合物と式



(式中 R は直鎖アルキルである)

の化合物とからなるものを除く、請求項 4～15 のいずれかに記載の液晶媒体。

17. 式 I'' の化合物を 40% より多く含有することを特徴とする、請求項 4～16 のいずれかに記載の液晶媒体。

18. 式 I'' の化合物の割合が 45～90% であることを特徴とする、請求項 17 に記載の液晶媒体。

19. 請求項 3～18 のいずれかに記載の液晶媒体を含有することを特徴とする、液晶表示素子。

20. 誘電体として、請求項 3～18 のいずれかに記載の液晶媒体を含有することを特徴とする、電気光学表示素子。

## 5 訂正審判請求の訂正内容 (特許請求の範囲の訂正箇所)

設定登録時の特許請求の範囲の記載は省略するが、後記 6 における訂正後の特許請求の範囲は、以下のように訂正されたものである。

(i) 設定登録時の特許請求の範囲の請求項 1 における、

「(b) 1, 4-フェニレン基 (この基中に存在する 1 個又は 2 個の CH 基はまた、N により置き換えられていてもよい)」

を、

「(b) 1, 4-フェニレン基」

と訂正する。

(ii) 設定登録時の特許請求の範囲の請求項 1 の末尾における、

「式中 R' はそれぞれ炭素原子 1～10 個を有するアルキル基である」

で示されるフルオロベンゼン誘導体。」

を、

「(式中 R' はそれぞれ炭素原子 1～10 個を有するアルキル基である)」

(c) A<sup>1</sup> 及び A<sup>2</sup> が、同一又は異なって、いずれもトランス-1, 4-シクロヘキシレン基、1, 4-フェニレン基、ピリミジン-2, 5-ジイル基又は 1, 3-ジオキサソ-2, 5-ジイル基であり、かつ Q-Y が F である化合物、

(d) A<sup>2</sup> が、1, 4-シクロヘキセニレン基であり、かつ Q-Y が F である化合物。]

で示されるフルオロベンゼン誘導体。」

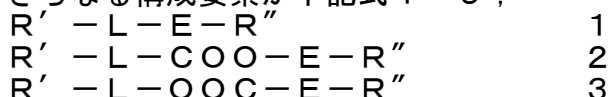
と訂正する。

(iii) 設定登録時の特許請求の範囲の請求項 4 の末尾における、

「する液晶媒体。」

を、

「し、さらなる構成要素が下記式 1～5 ;



$$\begin{array}{l} R' - L - CH_2CH_2 - E - R'' \\ R' - L - C \equiv C - E - R'' \end{array} \quad \begin{array}{l} 4 \\ 5 \end{array}$$

式1、式2、式3、式4及び式5において、L及びEは同一又は異なること  
 ができ、相互に独立して、それぞれ、-Phe-、Cyc-、-Phe-Phe-  
 -、-Phe-Cyc-、-Cyc-Cyc-、-Pyr-、-Dio-、-G-  
 Phe-及び-G-Cyc-ならびにそれらの鏡像基からなる群からの二価の基で  
 あり、Pheは1, 4-フェニレンであり（この基は非置換であるか、又はフッ素  
 で置換されている）、Cycはトランス-1, 4-シクロヘキシレン又は1, 4-  
 シクロヘキセニレンであり、Pyrはピリミジン-2, 5-ジイル又はピリジン-  
 2, 5-ジイルであり、Dioは1, 3-ジオキサン-2, 5-ジイルであり、そ  
 してGは2-（トランス-1, 4-シクロヘキシル）-エチル、ピリミジン-2,  
 5-ジイル、ピリジン-2, 5-ジイル又は1, 3-ジオキサン-2, 5-ジイル  
 であり、R' 及びR'' は相互に独立して、それぞれ、8個までの炭素原子を有する  
 アルキル、アルケニル、アルコキシ、アルコキシアルキル、アルケニルオキシ又は  
 アルカノイルオキシであるか、又は、R'' は、-F、-Cl、-NCS又は-  
 (O)<sub>i</sub>CH<sub>3</sub>-(k+1)F<sub>k</sub>Cl<sub>i</sub>（式中、iは、0又は1であり、そしてk+1  
 は、1、2又は3である）である、  
 で示される化合物から選択され、  
 (a) 式1''の化合物1種又は2種以上を5～90%、  
 (b) R'' が-F、-Cl、-NCS又は-(O)<sub>i</sub>CH<sub>3</sub>-(k+1)F<sub>k</sub>Cl<sub>i</sub>で  
 ある式1～5から選択される化合物を10～80%（グループB）及び  
 (c) R' 及びR'' が夫々互いに独立して、炭素原子1～8個を有するアルキ  
 ル、アルケニル、アルコキシ、アルコキシアルキル、アルケニルオキシ又はアルカ  
 ノイルオキシである式1～5から選択される化合物を0～30%（グループA）含  
 有し、  
 しきい値電圧が、1.66V以下であることを特徴とする、液晶媒体。」  
 と訂正する。  
 (iv) 設定登録時の特許請求の範囲の請求項6及び請求項13を削除し、それぞ  
 れ以下の項数を繰り上げ「6、・・・13、・・・」と訂正する。

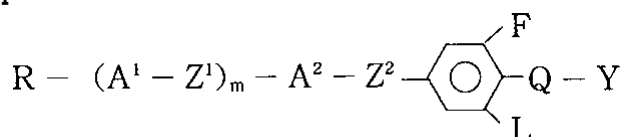
特許明細書のクレーム	訂正後のクレーム	特許明細書のクレーム	訂正後のクレーム
1	1	11	10
2	2	12	11
3	3	13	削除
4	4	14	12
5	5	15	13
6	削除	16	14
7	6	17	15
8	7	18	16
9	8	19	17
10	9	20	18

- (v) 設定登録時の特許請求の範囲の、  
 1) 請求項7中の、「請求項6」を、「請求項4」に、

- 2) 請求項 8 中の、「請求項 6」を、「請求項 4」に、
  - 3) 請求項 9 中の、「請求項 8」を、「請求項 7」に、
  - 4) 請求項 10 中の、「請求項 6」を、「請求項 4」に、
  - 5) 請求項 11 中の、「請求項 4～10」を「請求項 4～9」に、
  - 6) 請求項 12 中の「請求項 11」を「請求項 10」に、
  - 7) 請求項 14 中の「請求項 13」を「請求項 4」に、
  - 8) 請求項 15 中の「請求項 13」を「請求項 4」に、
  - 9) 請求項 16 中の「請求項 4～15」を「請求項 4～13」に、
  - 10) 請求項 17 中の「請求項 4～16」を「請求項 4～14」に、
  - 11) 請求項 18 中の「請求項 17」を「請求項 15」に、
  - 12) 請求項 19 中の「請求項 3～18」を「請求項 3～16」に、
  - 13) 請求項 20 中の「請求項 3～18」を「請求項 3～16」に、
- それぞれ訂正する。

**6 訂正審決による特許請求の範囲の記載**（下線部分が、設定登録時からの訂正箇所であり、そのうち 2 重下線部分は、前記 4 の平成 14 年 9 月 17 日付けの訂正からの訂正箇所）

1. 式 I



〔式中、Rは、Hであり、あるいはRは、炭素原子 1～15 個を有するアルキル基又はアルケニル基であり、この基は、非置換であるか、あるいは置換基として 1 個の CN 又は CF<sub>3</sub> を有するか、あるいは置換基として少なくとも 1 個のハロゲン を有しており、そしてこれらの基中に存在する 1 個又は 2 個以上の CH<sub>2</sub> 基は、場合によりそれぞれ相互に独立して、O 原子が相互に直接に結合しないものとして、  
 $-\text{O}-$ 、 $-\text{S}-$ 、 $-\text{C}(\text{O})-\text{C}(\text{O})-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{CO}-\text{O}-$ 、 $-\text{O}-\text{CO}-$  又は  $-\text{O}-\text{CO}-\text{O}-$  により置き換えられていてもよく、

A<sup>1</sup> 及び A<sup>2</sup> は、それぞれ相互に独立して、

(a) 1, 4-シクロヘキシレン基（この基中に存在する 1 個の CH<sub>2</sub> 基又は隣接していない 2 個以上の CH<sub>2</sub> 基はまた、 $-\text{O}-$  及び（又は） $-\text{S}-$  により置き換えられていてもよい）、

(b) 1, 4-フェニレン基、

(c) 1, 4-シクロヘキセニレン、1, 4-ビスクロ〔2, 2, 2〕オクチレン、ピペリジン-1, 4-ジイル、ナフタレン-2, 6-ジイル、デカヒドロナフタレン-2, 6-ジイル及び 1, 2, 3, 4-テトラヒドロナフタレン-2, 6-ジイルよりなる群からの基

であり、上記の基 (a) 及び基 (b) は、場合により CN 又はフッ素により置換されていてもよく、

Z<sup>1</sup> 及び Z<sup>2</sup> は、それぞれ相互に独立して、 $-\text{CO}-\text{O}-$ 、 $-\text{O}-\text{CO}-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-\text{CH}_2\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{C}\equiv\text{C}-$  又は単結合であり、あるいは基 Z<sup>1</sup> 及び基 Z<sup>2</sup> のうちの一つはまた、 $-(\text{CH}_2)_4-$  又は  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CH}_2\text{CH}_2-$  であることができ、

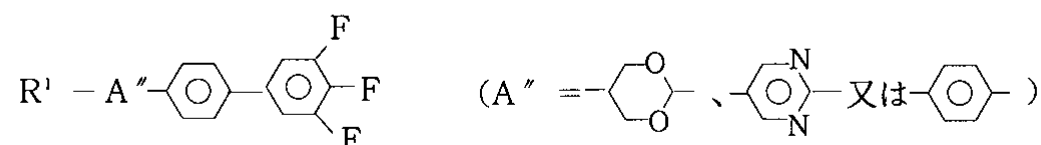
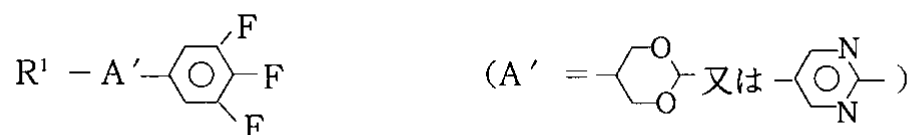
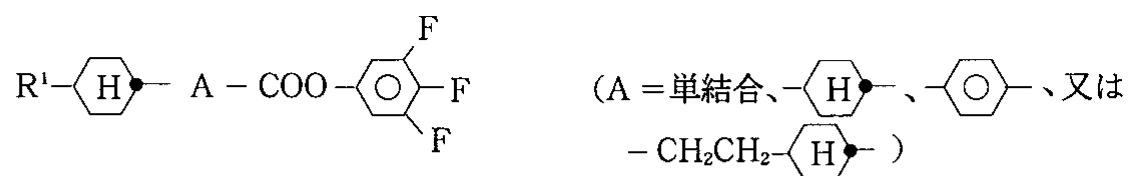
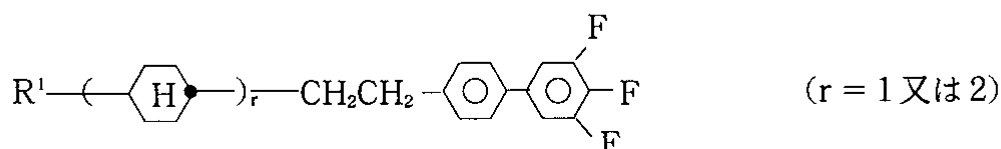
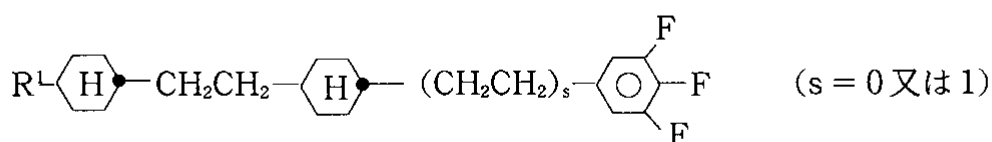
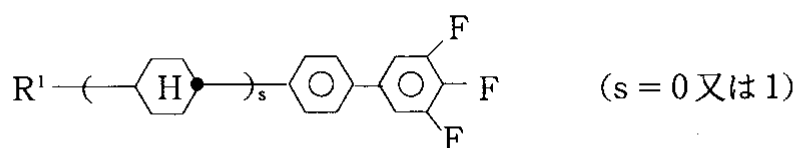
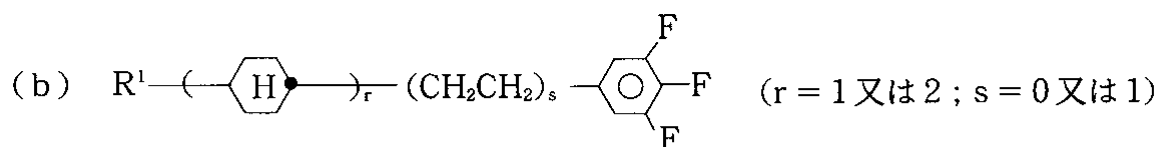
L は、F であり、

m は、0、1 又は 2 であり、

Y は、F 又は Cl であり、そして

Q は、単結合、 $-\text{CF}_2-$ 、 $-\text{OCF}_2-$  又は  $-\text{OCHF}-$  である、ただし、次の化合物を除く、

(a) 4-プロピル-4'-（3, 5-ジフルオロ-4-デフルオロメトキシフェニル）-トランス、トランス-ビスクロヘキシル



〔式中  $R^1$  はそれぞれ炭素原子 1 ~ 10 個を有するアルキル基である〕

(c)  $A^1$  及び  $A^2$  が、同一又は異なって、いずれもトランス-1,4-シクロヘキシレン基、1,4-

フェニレン基、ピリミジン-2,5-ジイル基又は 1,3-ジオキサセン-2,5-ジイル基であり、

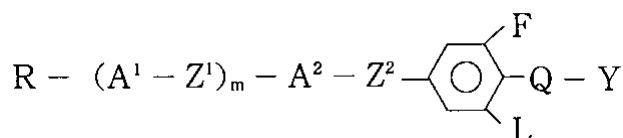
Q-Y が F である化合物、


(d)  $A^2$  が、1,4-シクロヘキセニレン基であり、かつ Q-Y が F である化合物。]

で示されるフルオロベンゼン誘導体。



2. 式 I で示される化合物を液晶媒体の成分として使用する方法。
3. 少なくとも 2 種の液晶成分を含有する液晶媒体であって、式 I で示される化合物のうちの少なくとも 1 種を含有することを特徴とする液晶媒体。
4. 式 I "



〔式中、Rは、Hであり、あるいはRは、炭素原子 1～15 個を有するアルキル基又はアルケニル基であり、この基は、非置換であるか、あるいは置換基として 1 個の CN 又は CF<sub>3</sub> を有するか、あるいは置換基として少なくとも 1 個のハロゲンを有しており、そしてこれらの基中に存在する 1 個又は 2 個以上の CH<sub>2</sub> 基は、場合によりそれぞれ相互に独立して、O 原子が相互に直接に結合しないものとして、  
 -O-, -S-, , -CO-, -CO-O-, -O-CO- 又は -O-CO-O- により置き換えられていてもよく、

A<sup>1</sup> 及び A<sup>2</sup> は、それぞれ相互に独立して、

(a) トランス-1, 4-シクロヘキシレン基 (この基中に存在する 1 個の CH<sub>2</sub> 基又は隣接していない 2 個以上の CH<sub>2</sub> 基はまた、-O- 及び (又は) -S- により置き換えられていてもよい)、

(b) 1, 4-フェニレン基 (この基中に存在する 1 個又は 2 個の CH 基はまた、N により置き換えられていてもよい)、

(c) 1, 4-シクロヘキセニレン, 1, 4-ビスクロ〔2, 2, 2〕オクチレン, ピペリジン-1, 4-ジイル, ナフタレン-2, 6-ジイル, デカヒドロナフタレン-2, 6-ジイル及び 1, 2, 3, 4-テトラヒドロナフタレン-2, 6-ジイルよりなる群からの基

であり、上記の基 (a) 及び基 (b) は、場合により CN 又はフッ素により置換されていてもよく、

Z<sup>1</sup> 及び Z<sup>2</sup> は、それぞれ相互に独立して、-CO-O-, -O-CO-, -CH<sub>2</sub>O-, -OCH<sub>2</sub>-, CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-, -CH=CH-, -C≡C- 又は単結合であり、あるいは基 Z<sup>1</sup> 及び基 Z<sup>2</sup> のうちの一つはまた、-(CH<sub>2</sub>)<sub>4</sub>- 又は -CH=CH-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>- であることができ、

L は、F であり、

m は、0, 1 又は 2 であり、

Y は、F 又は Cl であり、そして

Q は、単結合、-CF<sub>2</sub>-, -OCF<sub>2</sub>- 又は -OCHF- である、

で示されるフルオロベンゼン誘導体の 1 種又は 2 種以上に加え、さらなる構成要素として 4～30 種の成分を含有し、さらなる構成要素が下記式 1～5；

<u>R' - L - E - R''</u>	<u>1</u>
<u>R' - L - COO - E - R''</u>	<u>2</u>
<u>R' - L - OOC - E - R''</u>	<u>3</u>
<u>R' - L - CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub> - E - R''</u>	<u>4</u>
<u>R' - L - C≡C - E - R''</u>	<u>5</u>

式 1、式 2、式 3、式 4 及び式 5 において、L 及び E は同一又は異なることができ、相互に

独立して、それぞれ、-Phe-, Cyc-, -Phe-Phe-, -Phe-Cyc-, -C

yc-Cyc-, -Pyr-, -Dio-, -G-Phe- 及び -G-Cyc- ならびにそれら

の鏡像基からなる群からの二価の基であり、Phe は 1, 4-フェニレンであり (この基は非置

換であるか、又はフッ素で置換されている),  $Cyc$  はトランス-1, 4-シクロヘキシレン又は1, 4-シクロヘキセニレンであり,  $Py r$  はピリミジン-2, 5-ジイル又はピリジン-2, 5-ジイルであり,  $Dio$  は1, 3-ジオキサン-2, 5-ジイルであり, そして  $G$  は2-(トランス-1, 4-シクロヘキシル)-エチル, ピリミジン-2, 5-ジイル, ピリジン-2, 5-ジイル又は1, 3-ジオキサン-2, 5-ジイルであり,  $R'$  及び  $R''$  は相互に独立して, それぞれ, 8個までの炭素原子を有するアルキル, アルケニル, アルコキシ, アルコキシアルキル, アルケニルオキシ又はアルカノイルオキシであるか、又は,  $R''$  は,  $-F$ ,  $-Cl$ ,  $-NCS$  又は  $-(O)_iCH_3-(k+1)F_kCl_1$  (式中,  $i$  は, 0 又は 1 であり, そして  $k+1$  は, 1, 2 又は 3 である) である,

で示される化合物から選択され,

(a) 式  $I''$  の化合物 1 種又は 2 種以上を 5~90%,

(b)  $R''$  が  $-F$ ,  $-Cl$ ,  $-NCS$  又は  $-(O)_iCH_3-(k+1)F_kCl_1$  である式 1~5 から選

択される化合物を 10~80% (グループ B) 及び

(c)  $R'$  及び  $R''$  が夫々互いに独立して, 炭素原子 1~8 個を有するアルキル, アルケニル,

アルコキシ, アルコキシアルキル, アルケニルオキシ又はアルカノイルオキシである式 1~5 か

ら選択される化合物を 0~30% (グループ A) 含有し,

しきい値電圧が, 1.66 V 以下であることを特徴とする, 液晶媒体。

5. さらなる構成要素が 7~25 種の成分であることを特徴とする, 請求項 4 に記載の液晶媒体。

6. さらなる構成要素として, 式 1~5 のうちの 2 つから選択される化合物を含有することを特徴とする, 請求項 4 に記載の液晶媒体。

7.  $L$  が  $Cyc$  又は  $Ph e$  であり,  $E$  が  $Ph e-Cyc$  である構成要素を含有することを特徴とする, 請求項 4 に記載の液晶媒体。

8.  $L$  が  $Ph e$  であることを特徴とする, 請求項 7 に記載の液晶媒体。

9.  $L$  及び  $E$  が  $Cyc$ ,  $Ph e$  及び  $Py r$  からなる群から選択されたものである式 1~5 の化合物の 1 種又は 2 種以上と,  $L$  及び  $E$  のうちのひとつの基が  $Cyc$ ,  $Ph e$  及び  $Py r$  からなる群から選択され, 他の基が  $-Ph e-Ph e-$ ,  $-Ph e-Cyc-$ ,  $-Cyc-Cyc-$ ,  $-G-Ph e-$  及び  $-G-Cyc-$  からなる群から選択されたものである式 1~5 の化合物の 1 種又は 2 種以上とを同時に含むことを特徴とする, 請求項 4 に記載の液晶媒体。

10. 式  $I''$  の化合物を複数種含有することを特徴とする, 請求項 4~9 のいずれかに記載の液晶媒体。

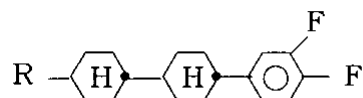
11. 式  $I''$  の化合物を 3, 4 又は 5 種含有することを特徴とする, 請求項 10 に記載の液晶媒体。

12.  $L$  及び  $E$  のうちのひとつの基がフッ素で置換された 1, 4-フェニレンを含

む、式 1～5 から選択される化合物を含有することを特徴とする、請求項 4 に記載の液晶媒体。

13. 式 I'' の化合物とグループ B の化合物とからなることを特徴とする、請求項 4 に記載の液晶媒体。

14. 式 I'' の化合物と式



(式中 R は直鎖アルキルである)

の化合物とからなるものを除く、請求項 4 ～ 13 のいずれかに記載の液晶媒体。

15. 式 I'' の化合物を 40% より多く含有することを特徴とする、請求項 4 ～ 14 のいずれかに記載の液晶媒体。

16. 式 I'' の化合物の割合が 45 ～ 90% であることを特徴とする、請求項 15 に記載の液晶媒体。

17. 請求項 3 ～ 16 のいずれかに記載の液晶媒体を含有することを特徴とする、液晶表示素子。

18. 誘電体として、請求項 3 ～ 16 のいずれかに記載の液晶媒体を含有することを特徴とする、電気光学表示素子。

### 第 3 原告主張の決定取消事由

決定は、訂正審決による訂正前の請求項に基づき（平成 14 年 9 月 17 日付け訂正請求に基づき）各請求項の発明の要旨を認定して、特許法 29 条の 2 により、先願当初明細書には、平成 14 年 9 月 17 日付け訂正による請求項 1 記載の発明 1 ないし 16 及び 19、20 と同一の発明が記載されていると認定判断したが、訂正審決による訂正後の特許請求の範囲の構成は平成 14 年 9 月 17 日付け訂正請求に基づく構成よりも限定されたものであるから、特許請求の範囲の減縮等を目的とする訂正を認める審決が確定したことにより、決定中特許を取り消した部分は、結果的に本件発明の要旨の認定を誤ったことになり、違法となったものである。

### 第 4 当裁判所の判断

原告主張の事由により決定中特許を取り消した部分は取り消されるべきものであり、本訴請求は理由がある。よって、訴訟費用の負担につき行訴法 7 条、民訴法 62 条を適用して、主文のとおり判決する。

東京高等裁判所知的財産第 4 部

裁判長裁判官	塚	原	朋	一
裁判官	塩	月	秀	平
裁判官	高	野	輝	久